

第67期 中間報告書

2023年2月21日 ～ 2023年8月20日



証券コード：8276

株主のみなさまへ



地域社会の活性化を実現し、
100年続く
「地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を
目指します。

代表取締役社長執行役員 平松正嗣

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社グループの事業、経営に対するご理解を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに、第67期中間報告書をお届けいたします。

国内小売業界および飲食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の位置づけ移行に伴う制限緩和を受けて、外出需要回復や客数増加、継続的な物価上昇による一品単価上昇により、営業収益は増加しました。また、光熱費の使用量削減の取り組みや燃料調整費が想定ほど上昇しなかったことに加え、広告宣伝費の効果的運用や生産性改善による人件費の削減により、販売管理費を抑制することができ、増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,079億60百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益63億86百万円(前年同期比32.3%増)、経常利益69億16百万円(前年同期比24.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、41億29百万円(前年同期比38.5%増)となりました。

当社は「地域になくてはならない存在」の実現に向けて、「平和堂ならではの地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を目指し、「地域共創」を基本理念とし、行動基準としての

サステナビリティや事業基盤としてのDXを取り入れながら、「地域の健康(地域が活性化された状態の実現)」を土台に人材育成、筋肉質経営を中期経営計画として進めています。プライベートブランド商品の展開強化や、商品の品質向上やサービス改善、地元の食材や商材とのコラボレーションなど、平和堂ブランドを総合的に高めていくとともに、魅力あるショッピングセンターづくりをおこなってまいります。

また、現代社会におけるコミュニティの減少、高齢者の孤立などが顕在化する中、当社が提供する場を「ライフライン」のみならず「サードプレイス」として日常的に人々が集まる場所となるような地域のコミュニティづくりをおこない、地域の活性化につなげてまいります。

環境の変化が激しい時代に対応し、様々な取り組みを進めていくことが求められているからこそ、平和堂は、地域との結びつきを重視し、従業員とともに地域に貢献し続ける企業を目指してまいります。

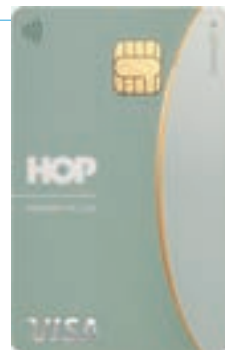
株主の皆さまには、一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年11月

HOP-VISAカードがリニューアル

リニューアルの背景

平和堂と三井住友カード株式会社は2009年より「HOP-VISAカード」を発行するなど、キャッシュレス分野におけるパートナーとして長年協業してきました。平和堂はAI(人工知能)やビッグデータなどの最先端技術の活用を目指して2022年にクロステック企画部を新設して以来、三井住友カードと共に両社の強みを活かした新たな価値創造の実現に向けて協業強化を推進してまいりました。両社は滋賀大学とともに、データサイエンスの分野における消費行動の解析やマーケティングの高度化を目的として9月14日に連携協定の締結を行い、お客さまへのサービス向上など小売り事業の課題解決を目指した取組みを開始いたしました。



新サービス概要

平和堂でのお買い物でのみ付与されていたHOPポイントが、平和堂以外でのお買い物でも100円(税込)につき1HOPポイントが付与されるようになりました。ポイントは1,000HOPポイントごとに現金1,000円に平和堂各店頭にてキャッシュバック、またはスマホやパソコンから500HOPポイントごとにHOPマネー500円分に交換できます。



サステナビリティの実現に寄与するカード

国内で初めて、カードの原板に滋賀県産の間伐材パルプを採用し、プラスチックの使用量を約10%削減したほか、滋賀県の伝統産業である真珠の養殖で廃棄されていたイケチョウガイの母貝を再利用したインキでカードを印刷するなど、サステナビリティの実現に寄与する画期的なカードが誕生しました。



小売業のクレジットカードでは国内初、グッドデザイン賞を受賞いたしました。2023年度の受賞についての詳細はこちらから。



HOP-VISAカードのご入会ははこちらから。



表紙について

今回の表紙は、新しいHOP-VISAカードのデザインをイメージして作成しました。



「いちご実践講座」の受講者が新たに就農



平和堂ファームでは、地域農業が抱える農業の担い手不足解消に向けた新規就農者支援の一環として、滋賀県内で概ね一年以内に新規就農を目指す方を対象とした「新規就農のためのいちご実践講座@平和堂ファーム※」を実施し、第1回の受講者5名全員が新たに就農されました。

今期も第2回のいちご実践講座を開催します。また、農業に関心を持つ方を対象としたミニトマト栽培の基礎知識を学ぶ1日体験型の講座を新たに開催し、農業支援の輪を広げてまいります。

今後も、地域との交流や、就農支援を通じた地域の皆様とのネットワーク構築など地域農業を応援し、滋賀県の持続可能な農業の実現に貢献してまいります。

※本講座は公益財団法人滋賀県農林漁業担い手育成基金と平和堂が主催し、滋賀県の後援のもと開催しております。



平和堂レポートについて

当社のサステナビリティ活動を紹介した平和堂レポートは、WEBサイトをご確認ください。



トピックス

アル・プラザ草津(滋賀県草津市)

2023年4月21日(金) OPEN

REFRESH OPEN



トレンドコスメや自然派コスメなどが揃う「CoCoRo Plus」



ゆっくりお過ごしいただける420席のフードコート

JR草津駅の西側「エスクエア」のテナントとして、1996年にオープンして以来多くのお客様にご来店いただいている「アル・プラザ草津(滋賀県草津市)」が、2020年からのフロアレイアウトの変更や品揃えの拡充を経て全館リニューアルを終え、このたびグランドオープンしました。

今回の改装では、子ども用品等を扱う「kids fest」などの直営ショップが誕生したほか、滋賀県に3年ぶりに再出店する「ロフト」が入店しました。また、食の専門店・フードコートを一軒し、滋賀県内初出店の店舗や、滋賀県を代表する和菓子店など、人気の専門店がオープンしました。席数も大幅に拡大し、よりゆったりとおくつろぎいただける空間に生まれ変わりました。思わず立ち寄りたくなる楽しいお店が多く並ぶなかで、店内各所のレストスペースも大幅に拡大し、お買い物だけでなく、居心地がよく、楽しくお過ごしいただける環境を整え、お客様に「私のお店」と気軽にお立ち寄りいただける店舗を目指しました。地域の皆様の毎日の生活に寄り添う「ONE MILE LIFE PARK」として、最高のおもてなしを実現してまいります。

アル・プラザ草津の改装の詳細につきましては、WEBサイトをご確認ください。



kids fest アスパア明石店(兵庫県明石市)

2023年4月14日(金) OPEN

NEW OPEN



ショップ名には、「お祭りに行く時のように、子どもたちがワクワクする、笑顔になるような場所」という意味が込められています。

「kids fest」は小さなお子様向けの遊び場を併設した、子ども用品、おもちゃ、ゲーム、学童用品、子供衣料などお子様関連商品の豊富な品揃えが人気のショップです。現在は平和堂ショッピングセンター内に14店舗を展開していますが、このたび兵庫県明石市の「アスパア明石」1階に、自社運営以外のショッピングセンターのテナントとして初めて出店しました。出店にあたり、ショップ名をこれまでの「kids forest」から「kids fest」に改めました。「kids fest」を通じて、平和堂が取り組む子育て応援のフラッグシップショップとして、お子様の健康と豊かで伸び伸びとした成長をサポートしてまいります。

「食かけるプライズ2022」で「食かける賞」を受賞



食かけるプロジェクト

農林水産省による「食かけるプライズ2022※」において、当社が手掛けた食体験ツアー「発酵を極める旅～味噌・醤油から寿司の起源『鮎寿司』まで～」が「食かける賞」を受賞しました。

農林水産省が実施する「食かけるプロジェクト」は、訪日外国人に食と歴史や自然等、異分野と掛け合わせ

た多様な食文化を提供し日本食に親しんでもらい、帰国後も本国にしながら日本食を体験することにより、日本産食材等の輸出拡大につなげていく取り組みです。今回受賞したツアーは、滋賀県高島市を舞台に多様な発酵食文化を感じることができる日帰りツアーとして、平和堂旅行センターで販売したものです。今後も、滋賀県をはじめとした各地域の食文化を身近に感じることのできる魅力あるツアーの企画、開発に取り組んでまいります。

※「食かけるプロジェクト」の一環として、日本各地の食・食文化を深く知ることができる食体験を表彰する制度。

ニュースリリースのご案内

平和堂の商品・サービスやサステナビリティの取り組みなどの最新情報につきましては、WEBサイトをご確認ください。



価値ある商品を、作る・届ける

新デリカセンター稼働

1991年に建設した旧デリカセンターが開設から32年が経過し、設備の老朽化や店舗数の増加による供給対応のほか、生産性の改善等の課題に対応するため「平和堂多賀デリカセンター（滋賀県犬上郡多賀町）」（施設運営：株式会社ベストストーン）を建設しました。

新デリカセンターは、「商品にやさしい」「環境にやさしい」「人にやさしい」の3つのコンセプトのもと、商品開発力・生産能力・供給店舗拡大への対応や、徹底した衛生管理と最新の機器による味・品質・鮮度の向上、資源リサイクルを考えた環境への取り組み、そして働きやすい環境づくりを実現し、新しく生まれ変わりました。



新デリカセンター 3つのコンセプト

CONCEPT
01

商品にやさしい

～よりおいしく、より安全安心な商品をお届けします～

全自動炊飯器を導入し、お米の甘みを引き出す「釜炊き」ができるようになりました。お米の浸漬から炊飯、冷やし込み、釜洗浄まで自動化し、浸漬以降はお米を動かさないため、ふっくらおいしいご飯が炊き上がります。

また、おかずや惣菜は、過熱蒸気オーブンを新しく導入し、高温の過熱蒸気で焼き上げることでさらに美味しく仕上げるができるようになりました。



CONCEPT
02

環境にやさしい

～環境のために、地域のために
新デリカセンターができることに取り組みます～

カット野菜などを生産した後の残渣から作った堆肥化原料を平和堂ファーム等で利用、そこで生産した野菜を店舗で販売する循環型農業に取り組みます。また、包装材の変更により使用するプラスチックの削減や、植物由来のバイオマスインクを使用し環境に配慮しています。



CONCEPT
03

人にやさしい

～健やかにイキイキと働いてもらうために
DXを推進し、省人化に取り組みます～

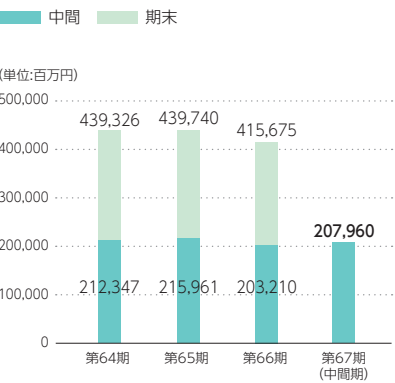
生産エリアから物流エリアまでAGVと呼ばれる自動搬送車が商品を運びます。また、高温になる加熱室では、外気を導入し循環させて温度上昇を抑え、盛付室では、寒さを感じない空調（ソックダクト）を採用しています。最新機器を導入することでDXを推進し、省人化と働きやすい環境づくりに取り組みます。



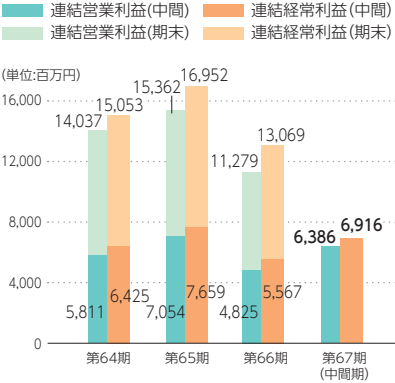
コンテナを搬送するAGV（自動搬送機）

財務ハイライト

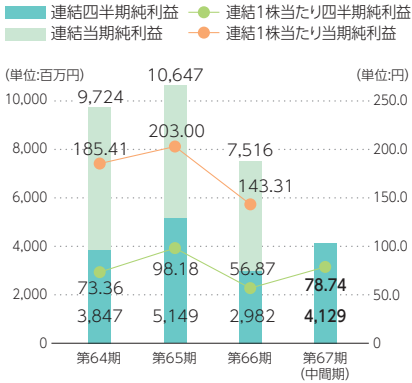
連結営業収益



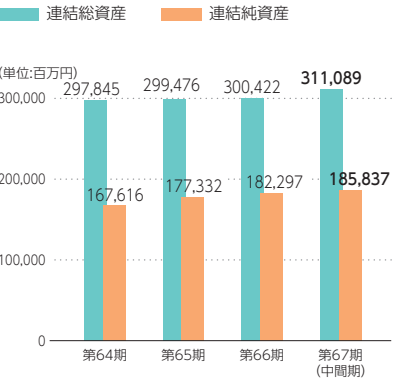
連結営業利益／連結経常利益



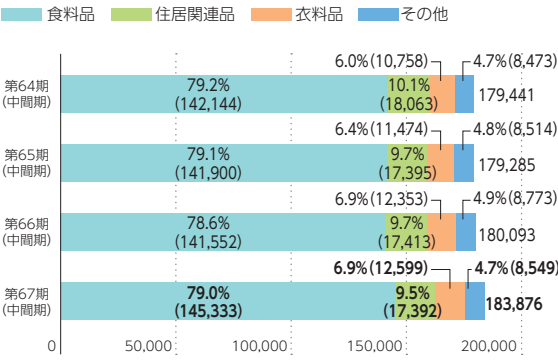
連結四半期(当期)純利益／連結1株当たり四半期(当期)純利益



連結総資産／連結純資産



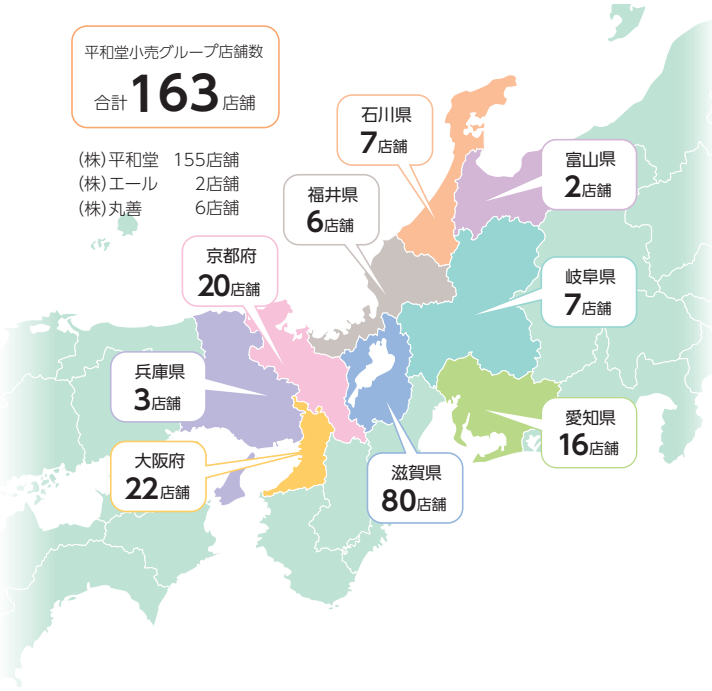
単体部門別売上高 (単位:百万円)



決算情報の詳細は、WEBサイトをご確認ください。



グループの店舗



グループ会社

食料品、衣料品、日用雑貨品等の小売業
株式会社 エール 株式会社 丸善 平和堂(中国)有限公司

飲食店等の経営
株式会社 ファイブスター 株式会社 シー・オー・エム

書籍等販売・CD・DVDレンタル業およびフィットネス事業
株式会社 ダイレクト・ショップ

米飯、惣菜等の製造・加工・販売および精肉鮮魚加工
株式会社 ベストーネ

アミューズメントの運営
株式会社 ユーイング

総合ビル管理および警備保安業
株式会社 ナショナルメンテナンス

不動産賃貸
株式会社 ヤナゲン

その他の子会社

舞鶴流通産業 株式会社
加賀コミュニティプラザ 株式会社
福井南部商業開発 株式会社

武生駅北パーキング 株式会社
富山フューチャー開発 株式会社
湖南平和物業発展有限公司

計16社

株主優待制度のご案内

当社株式100株以上ご所有の株主様へのご優待制度につきましては、WEBサイトをご確認ください。



会社・株式データ

会社概要

2023年8月20日現在

社名	株式会社 平和堂
所在地	〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地
電話	0749-23-3111(代)
設立	1957年6月
資本金	11,614,379,000円
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
従業員数	13,396名 正社員 3,589名(男2,489名 女1,100名) パート・アルバイト社員 9,807名 ※パート・アルバイト社員は8H換算期中平均
事業内容	食料品、衣料品、日用雑貨品等の総合小売業 および店舗賃貸業等
店舗数	155店舗(2023年10月31日現在)

役員

2023年8月20日現在

代表取締役社長執行役員	平松正嗣
取締役専務執行役員	夏原行平
取締役常務執行役員	夏原陽平
取締役常務執行役員	小杉茂樹
取締役上席執行役員	平塚善道
社外取締役	上山信一
社外取締役	行木陽子
取締役(常勤監査等委員)	本持真二
社外取締役(監査等委員)	山川晋
社外取締役(監査等委員)	高島志郎

株主メモ

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
基準日	2月20日 (その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。)
定時株主総会	5月
期末配当金受領株主確定日	2月20日
中間配当金受領株主確定日	8月20日

〈株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について〉
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株式の状況

2023年8月20日現在

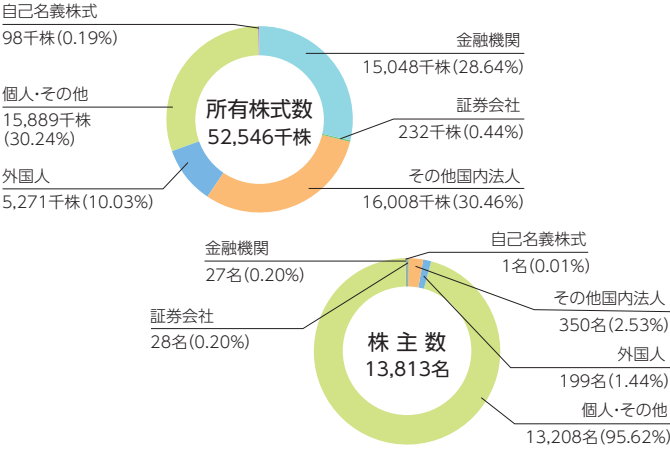
発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	52,546,470 株
株主数	13,813 名

大株主(上位10名)

株主名	所有株式数 千株	出資比率 %
夏原商事合同会社	3,500	6.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,441	6.56
平和堂共栄会	3,197	6.10
公益財団法人平和堂財団	3,000	5.72
株式会社滋賀銀行	2,500	4.77
株式会社ピース&グリーン	1,950	3.72
日本生命保険相互会社	1,861	3.55
平和観光開発株式会社	1,694	3.23
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,438	2.74
平和堂社員持株会	1,027	1.96

※出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況



株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031

〈特別口座について〉
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公 告 方 法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。(https://www.heiwado.jp)
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



【ホームページアドレス】 <https://www.heiwado.jp>

